

どうだん

発行
島田市農業委員会
編集
農業委員会事務局
静岡県島田市中心町1番の1
0547-36-7209
URL : [http://www/sicity.shimada.shizuoka.jp](http://www.sicity.shimada.shizuoka.jp)
E-mail : nougyou@city.shimada.shizuoka.jp

島田市農業委員会だより第1号

平成17年12月21日発行

も

- ・「ひろみちゃんのリンゴ園」紹介・・・・・・・・・・（表紙）
- ・農業委員会の委員が決まりました・・・・・・・・・・（2）（3）

く

- ・ガーベラ農家「阪本 松浦 秀樹さん」紹介・・・・・・・・（4）

じ

- ・農業の近代化を進める切山・・・・・・・・・・（4）
- ・スーパーちびっ子農家「大柳南 小澤 優馬君」紹介・・（5）
- ・お知らせ、農政協力委員名簿・・・・・・・・・・（5）（6）



りんご生産者 永井 弘美 さん（金谷・牛尾）

りんご観光園を始めて12年。
安心安全な皮ごと食べられるりんごを作ろうと試行錯誤してまいりました。
地球温暖化に伴い、りんご栽培も年々厳しくなっておりますが、今年また
りんごを栽植いたしました。

まだ、もう少し頑張りたい、夢を追いかけてみたいと思います。
皆さん、お近くへお出掛けの際には、是非お立ち寄りください。

会長挨拶

会長 天野 富夫



本年、五月五日(日)に新島田市が誕生いたしました。これに伴い、合併特例法の在任特例により九月三十日まで委員の任期が延長され、任期満了に伴い委員改選となりました。

新委員は、選挙(無投票)で選出された二十名と選任委員七名で総委員二十七名により運営することになりました。去る十月五日に第一回農業委員会総会を開催しその席上に於いて農業委員会会長に選任されました。幸に島田、金谷は人間的交流も極めてあり、産業、特に農業面に於いては茶業を中心に発展して来ました共通点をより一層進展させながら新鮮さを基に一つ一つ積み上げ、長年そこに育み培って来た良いことだけを結集しこれを発展の足場に更に努めて行かなければなりません。皆様方の一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。さて、農業委員に課せられた使命は大なるものがあります。

認定農業者等への農地利用集積、経営改善支援、税金、農地の売買、貸借等や後継者など農家への対応、農業者の声を積み上げた意見の公表、行政への建議諮問答申、優良農地の確保と有効利用、遊休農地

の解消、農地情報の一元管理、新たな農業者年金制度の普及と定着、以上のような課題の中で、特に問題になってくる事は耕作放棄地の増大であります。その要因は農産物価格の低迷、安定的見通しの不透明、農業者の高齢化、担い手不足、相続による不在地主等が大きな要因となっております。我々農業委員も自己研鑽に努め基礎知識を基に法を正しく解釈し業務の実行が肝心であります。農業委員会の活動も限りなくその責任の重大さを強く受けとめその責務に精進いたしますのでよろしくお願いたします。

委員紹介

写真下は担当地区

副会長 落合 哲男



神谷城

副会長 曾根 金成



六合 13・14 支部 (東 町)

委員 兵庫 勝正



伊久身

委員 木下 幸雄



湯 日

委員 加藤 正悦



町川町 溝川町 中宮若 太全町 伊谷三

委員 太田 登



町島町 井島井 横向大 町町指 荷原河 稲河中旗

委員 大橋 正明



町町町 町町町 町町町 南本緑 山和崎 山和崎 城坂新田 金大宮

委員 増田 重男



阪本(色尾、沼伏) 大 柳

委員 鈴木 三士



六合 1,2,3,4 支部 (道悦1-5丁目、道悦島、阿知ヶ谷)

委員 山下 潔



横 岡 北五和



委員 栗田 保

六合 6,7,8,9 支部
(岸・東光寺)



委員 村上 克郎

栄代根 町 志戸呂
官岸 町 番生寺
根 岸 町 谷北団地



委員 星野 辰巳

野田
落合



委員 権田 壽秋

相賀
神座
鶴 綱



委員 杉本 一干男

船木
(南原、岡田、井口)
中河



委員 杉本 敏郎

尾川
大草
千葉



委員 永井 弘美

牛尾
島



委員 町 三雄

元島田 本通7丁目
御飯屋町 松葉町
旭砂町 幸町 中央町
高砂町 日之出町
大津通 新田町
南町、宝来町



委員 大塚 義輔

阪本
(旧初)



委員 紅林 正良

猪土居
富士見町



委員 大島 常夫

六合 10,11,12 支部
(東町)



委員 杉山 公博

竹下
大代



委員 松本 洋子

切山



委員 井村 貢

菊川



委員 池ヶ谷 かよ

神座



委員 杉村 光樹

阪本
(谷口)

ガーベラ農家紹介

花のある生活を！



松浦 秀樹さん(阪本)

「皆さん！花のある生活をして
いますか？」静岡といえば、全
国でも花の栽培面積、生産量は
全国トップクラスに位置してい
ますが、消費の面では下から数
えた方が早いのは、ご存知の方
も多いと思います。

静岡は温暖な気候で、庭先で
も花が咲く恵まれた環境にある
のも一つの要因かもしれませ
ん。私は、ガーベラを栽培してい
ます。ガーベラは、苗を植えつ
けてから二ヶ月ほどで採花し始
め、それから年中、収穫、出荷
となります。自宅で出荷できな
い花を飾っていますが、仕事で
疲れて帰ると、花は温かく迎え

てくれます。花を飾っていない
日もありますが、その様な時に
は何か部屋の雰囲気の違い、物
足りなさを感じるのです。
花には、人の気持ちを和やか
にして、心身をリフレッシュさ
せる働きがあるそうです。どの
ような花でも良いのです。花を
飾る習慣をつけてみてはいかが
でしょうか。



農業の近代化を進める切山

紅林 正良(切山)

切山は、旧金谷町の最も南に位
置し、牧之原市と接する場所にあ
ります。

お茶は切山の基幹作物として農
業経営の柱であり、基盤整備する
ことが魅力のある農業経営とゆ
りある生活を実現する大きな力に
なります。

切山地区においては、空港関連
事業による大規模農地造成工事
(切山土地改良区事業)が施工さ
れ、約六十ヘクタールの植栽面積
が平成十二年に完成しました。

現在、乗用型摘採機を始めとし
て、施肥から薬剤散布に至るまで、
管理農業へと移行しており大型機
械化茶業への第一歩が刻まれたと
ころです。

防霜ファン施設にも乗用型管理
のしやすいように、防霜ファンの
柱の支線を無くし、電線も地下

茶株の中に配線して地上には見えな
いように工夫してあります。

また、これと時を同じくして、高
生産性農業機械の導入による近代
的な緑茶加工施設として、農事組合法
人ちやっきり工房が地区の再編(四
十名)により造られております。

今後の課題として、牧之原台
地の既存茶園の基盤整備が残って
おります。永年作物である茶園の基盤
整備は難しい面も非常に多くありま
すが、切山農業検討委員会を発足し、
近代農業に適応可能な茶園造りの検
討に入ったところです。



スーパーちびっ子農家紹介

小澤 優馬君 (大柳南)



農機具の修理、メーカーや年式などすべて記憶し、トラクター、コンバインなど農機具の操作方法も知っている。また、農業に関する新聞の記事を切り抜き、一冊のノートにまとめる勉強熱心さ。部落

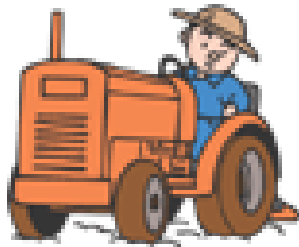
でも有名になってきた優馬君。将来は必ず大物になるだろうと優馬君を知る大人達が騒ぎ始めている。

先日は、六十歳の農家の方がレタスのことで優馬君に指導してもらったり、五十歳の農家の方がコンバインの故障で困っているとこるを優馬君に直してもらったなど、地元の農家の方達は大助かり。

大人達も優馬君に負けないよう農業経営に取り組み、生産性の高い農業を目指すため努力が必要である。

(紹介者)

農業委員 杉本 二千男



農業委員会からのお知らせ

農地のご相談は 私たち農業委員へ

農業委員会は、農家の代表機関として農業生産力の向上や経営の合理化、農家の生活の安定を図るために設けられた行政機関です。

現在、高齢化等に伴う遊休農地が問題となっています。解消の一助として、期間を決めて農地の貸し借りをを行う利用権設定促進事業(利用集積)が主に行われています。

農地を貸したい、借りたいと考えている人は農業委員会までご相談ください。



農地の転用には許可が必要です

無断転用は法律違反です!

農地を農地以外のものにする転用には、農地法による制限が設けられ許可が必要になっています。

無断転用は周辺の農地に悪影響を及ぼすだけでなく、地域みんなの迷惑をなします。貴重な農地を守り有効に利用するため、転用する時は、許可を受けてください。

農地転用って何?

農地転用とは、農地を住宅敷地、工場敷地、道路、植林、駐車場など農地以外の用途に転換することをいいます。

また、一時的な資材置場、作業用宿舎、砂利採取場などへの一時転用も含まれます。

詳しいことは、島田市農業委員会 または、お近くの農業委員さんへご相談ください。

平成17年度 農政協力員名簿

島田地区				金谷地区			
地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
鍋島	戸田 暁生	大草	楠 登志夫	高熊	鈴木 秀雄	緑町	大橋 正明
川口	山崎 和俊	千葉	坂田 正夫	福用	大池 義男	古横町	斉藤 照一
長島	仲安 博夫	1支部	八木 邦良	神尾	石塚 駒市	横丁	斉藤 照一
犬間	永橋 久志	2支部	永田 宗雄	横岡上	鈴木 和廣	天王町	浅原 忠男
小川	柴田 忠志	3支部	大石 孟	横岡中	永井 時次	二軒家	西山 浩一
中平	大塚 弥	4支部	杉本 勝義	横岡下	増田 武	清水	増田 秀夫
二俣	袋井 博巳	5支部	森下 正次	竹下東	大岩 陸男	中町	鈴木 廣夫
白井	市川 芳幸	6支部	栗田 常雄	竹下西	杉山 正司	扇町	鈴木 策蔵
伊太	伊藤 茂美	7支部	小泉 鋼太郎	竹下下	伊藤 徳雄	泉町	秋山 晴男
相賀	太田 薫	8支部	園田 貞夫	牛尾上	松田 實	東町西	大塚 勝也
神座	天野 久志	9支部	河村 徹男	牛尾下	八木 信一	東町東	土屋 米次
大井町	JA中溝鈴木	10支部	畠 正吾	島東	鈴木 鹿次郎	宮崎町	沢井 義春
幸町	鈴木 修雄	11支部	増田 高男	島西	浅原 良王	栄町	水野 久男
横井町	鈴木 隆	12支部	堤坂 欣司	番生寺上	小林 孝男	根岸	増田 昇
新田町	石間 祥太郎	13支部	曾根 俊夫	番生寺中	鈴木 義明	代官町	鈴木 利政
南町	吉原 剛一	14支部	堤坂 芳隆	番生寺下	西山 博之	猪土居1	藤澤 幹夫
本通七	百々 義夫	吹木	大橋 敦	番生寺西	杉本 芳雄	猪土居2	永田 憲三
高砂町	前原 満夫	中講	西沢 博之	志戸呂上	渡辺 吉郎	切山1	松本 安雄
旭町	末松 信夫	本村	富永 敏之	志戸呂下	田中 信吉	切山2	大崎 隆
御飯屋町	広住 篤弘	原の平	坂本 佳一	大代上	杉山 貞夫	富士見町	鈴木 啓允
向島町	太田 登	下湯日	松本 知明	大代中	杉山 恵則		
河原町	酒井 司夫	沼伏	今村 友記	大代下	渡辺 新次		
稻荷町	荒浪 雄一郎	色尾西	増田 重男	菊川新谷	鈴木 勝彦		
向谷町	加藤 正悦	色尾東	松本 唯夫	佐夜鹿	鈴木 清		
向谷元町	浅原 伸一	旧初上	大石 泰輔	牧ノ原	鈴木 進		
三ツ合町	片川 武雄	旧初下	杉本 久米男	菊川平	山本 登		
中溝町	大岩 壮次	谷口上	松浦 雅則	菊川川向	北川 安次		
中河町	奈木 昭三	谷口下	大石 俊明	菊川松島	山本 茂		
元島田	町 三雄	大柳	鈴木 通弘	神谷城東	北川 勇		
東野田	駒形 勝	中河	鈴木 素雄	神谷城西	増田 富次		
西野田	駒形 岳志	井口	北川 英行	神谷城下	岡村 保広		
上野田	大畑 邦彦	南原	大村 岩次郎	坂町	田中 孝夫		
落合	佐野 文夫	岡田	柴田 安男	城山	伊藤 一男		
尾川	山田 茂治			新町	伊藤 一男		

新農業者年金に加入しませんか

一 農業従事者なら誰でも加入
できます。

二 国からの保険料助成があり
ます。

三 保険料が自由に設定でき、
全額社会保険料控除の対象
となります。

四 積立型の八十歳保証付き終
身年金です。

全国農業新聞を購読しませんか

全国農業新聞は、経営・生活
に役立つ農業総合専門誌です。

発行日 毎週金曜日

購読料 一ヶ月六百元(送料込)

問い合わせ及び申し込みは、

お近くの農業委員又は農業

委員会事務局まで

編集後記

初冬の候、心せわしい師走と
なりましたが、本年もいよいよ
押しつきました。新メンパーにて、
新メンパーにて、新市第一
号を発行出来まして一安心です。

農政企画部会一同・事務局